

佐賀県民は甘いものが好き？

佐賀は甘党のまち？歴史が語る甘味のルーツ

佐賀は、通称「**シュガーロード**」(日本遺産認定)として知られる長崎街道の要所に位置しています。江戸時代、輸入された砂糖がこの道を通って運ばれ、シュガーロード周辺の地域に砂糖の文化や菓子作りの技術が浸透し、佐賀のまちにも甘味文化が花開きました。「**小城羊羹**」や「**丸ぼうろ**」など、今でも親しまれている和菓子は、その名残とも言えるでしょう。“**佐賀県民は歴史的に甘党なのではないか？**”

本レポートでは、消費データをもとに佐賀県民の“甘党度”を検証していきます。



小城羊羹



丸ぼうろ

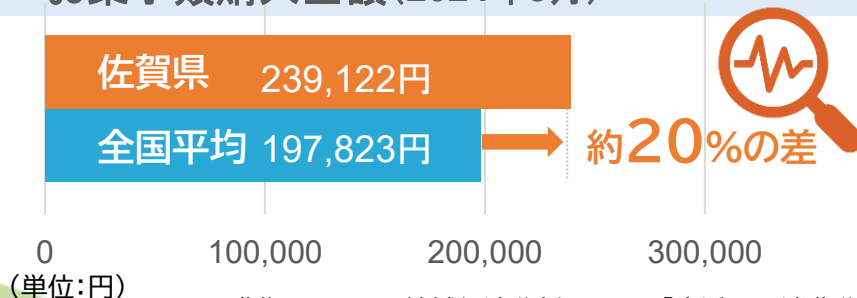
提供:photoAV「<https://www.photo-ac.com>」

佐賀県民はお菓子が好き！全国平均を大きく上回る消費

全国のスーパーやドラッグストアで購入されたお菓子類について、1,000人あたりの購入額を調べてみると、全国平均より佐賀県の実購入額は約7%(約1万3,000円)も上回っていることが分かりました(2024年の月平均)。

特に8月はお菓子類の実購入額が全国平均より約**20%**も上回っていました。

お菓子類購入金額(2024年8月)



典拠: RESAS地域経済分析システム「生活用品消費分析」より

このように、佐賀県では全国的に見ても高い水準でお菓子が購入されており、日常生活の中でお菓子が身近な存在となっていることがうかがえます。

数字で見る、佐賀県民の“お菓子の好み”

佐賀県ではお菓子全体の「消費額」が全国平均を大きく上回る中で、特に甘味系カテゴリ全般において、高い支出の傾向が顕著に表れています。一方で、せんべいやおかきが代表する米菓等、塩味・素朴系のお菓子カテゴリでは全国平均を下回っており、佐賀県民の甘いもの志向の強さと、嗜好の方向性がうかがえます。

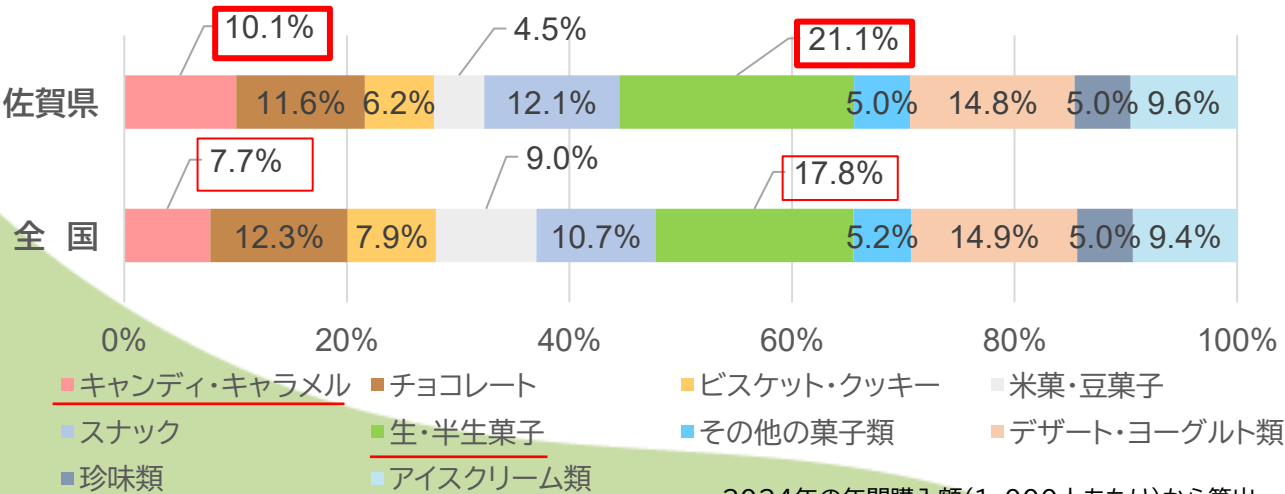


	全国平均	VS	佐賀県	差額
アイスクリーム類	44,608		57,150	12,541
スナック	19,888		27,533	7,646
キャンディ・キャラメル	14,099		21,080	6,981
生・半生菓子	27,945		33,799	5,854
デザート類	11,109		13,810	2,701
米菓&豆菓子	14,597		8,688	-5,909

2024年8月の月間購入額(1,000人あたり/単位:円)
典拠: RESAS地域経済分析システム「生活用品消費分析」より

お菓子のカテゴリ別に購入割合を調べてみると、キャンディ・キャラメルや生・半生菓子を購入する割合が全国平均より多いことが分かります。

この購入割合の高さからも分かるように、**生・半生菓子の1,000人あたり購入額は全国10位、キャンディ・キャラメルは全国3位**(2024年8月)という購入水準の高さでした。



2024年の年間購入額(1,000人あたり)から算出
典拠: RESAS地域経済分析システム「生活用品消費分析」より

佐賀県民は全国トップレベルの甘党だった！

佐賀県で好んで購入されるキャンディ・キャラメル、生・半生菓子について、九州県内に絞って比較してみましょう。

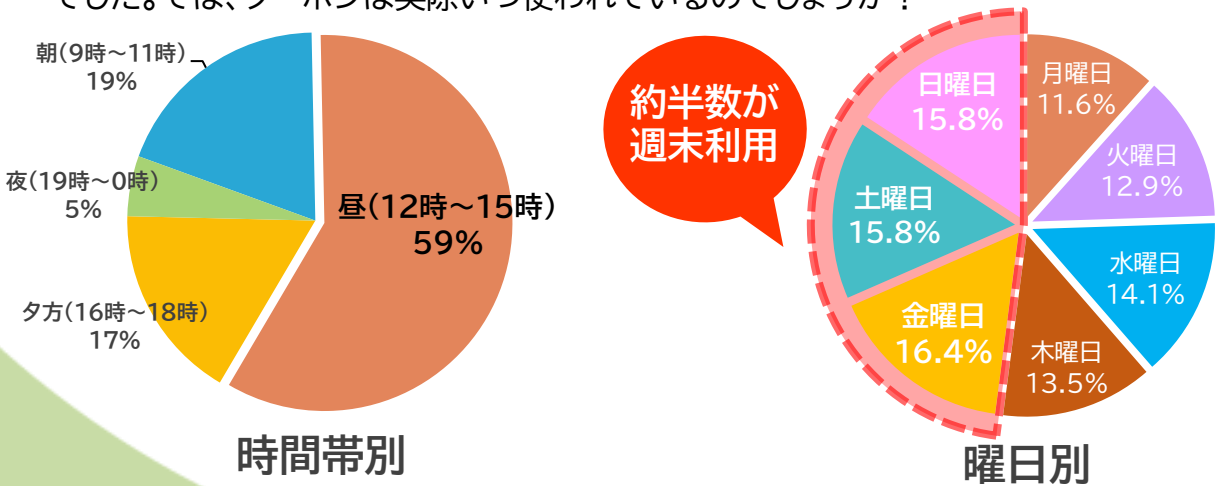
	キャンディ・キャラメル	全国順位	生・半生菓子	全国順位
佐賀県	21,080	3位	33,799	10位
福岡県	15,249	23位	25,450	33位
長崎県	17,674	12位	24,151	37位
大分県	14,801	27位	21,575	43位
熊本県	16,729	16位	22,624	40位
宮崎県	19,765	5位	29,666	19位
鹿児島県	18,475	7位	28,553	24位
沖縄県	10,967	42位	13,441	47位

典拠：RESAS地域経済分析システム「生活用品消費分析」より(2024年8月)

同じ長崎街道(シュガーロード)が通る「長崎」・「福岡」と比べても、佐賀県は**全国順位で上位**にあり、やはり甘いもの好きと言えるでしょう。

サガマチ・ランデブーから見た「街なか店舗」での製菓の購入状況は？

街なかレポートVol7で調査した結果、「クーポンの利用先」の 카테고리では「製菓」が1位でした。では、クーポンは実際いつ使われているのでしょうか？



典拠：サガマチ・ランデブー「2024年度 500円クーポン利用：7108件」より

クーポンの利用が最も多い時間帯は**お昼12時～15時**が約6割と半数以上はランチタイムに使われています。曜日別では、**週末の利用が全体の約半数**を占めており、日曜日でもクーポンの利用が多かったことがわかります。こうしたデータをもとに、お店オリジナルの甘い魅力を発信してみてはいかがでしょうか。

コラム： レポート作成の裏側 ～データのさがし方～

佐賀県民は甘いものが好きなのか？ その仮説を検証するため、内閣府が提供している地域経済分析システム「**RESAS**(リーサス)」を活用しました。RESASでは、地域経済に関する膨大なビッグデータを、都道府県ごとに地図やグラフで分かりやすく見ることができます。RESASを使って、佐賀の新たな魅力を発見してみましょう。

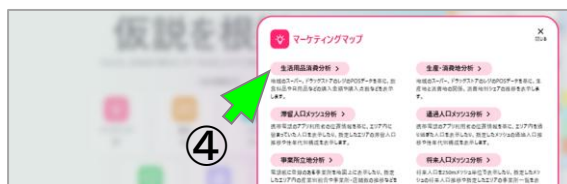
今回のデータの見つけ方(一例)



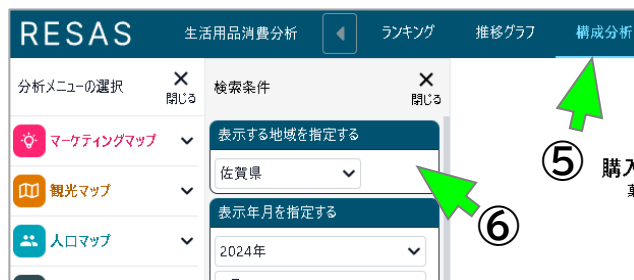
- ① ブラウザで「**resas**(リーサス)」と検索
- ② 「RESAS 地域分析システム」をクリック



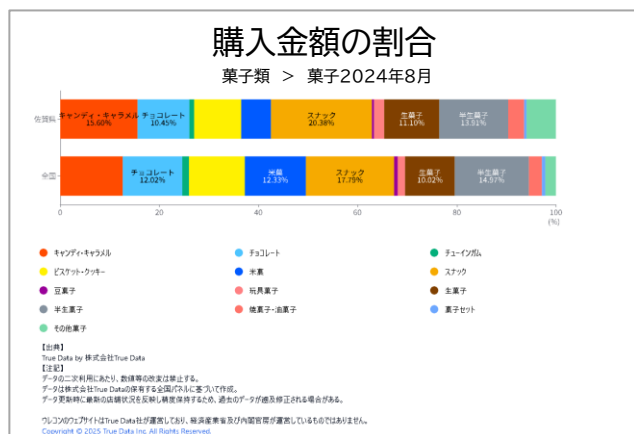
- ③ 「マーケティング」をクリック



- ④ 「生活用品消費分析」をクリック



- ⑤ 「構成分析」を選択
- ⑥ 「検索条件」を編集
 - ・表示する地域を指定する→ 佐賀県
 - ・表示年月を指定する→ 2024年8月
 - ・表示内容を指定する→ 購入金額の割合
 - ・表示分類を指定する→ 小分類構成, 菓子類, 菓子



■出典：リーサス「<https://resas.go.jp/>」

SAGAスマート街なかレポートとは

SAGAスマート街なかレポートとは、佐賀市の街なか活性化に役立つ情報をさまざまなデータをもとに分析し提供するものです。どんな要因によって街なかの人の流れが変わるのか？消費行動は？など、ビッグデータからヒントを導きだします。
このレポートは、一般社団法人地域デザイン総合研究所と佐賀大学の学生チームが共同してレポートを作成します。

レポートに関するお問い合わせ

一般社団法人地域デザイン総合研究所（株式会社ローカルメディアラボ内）

TEL: 0952-97-9605 E-MAIL: info@lm-labs.com